
大和ブロック交流研究会

「小中の連携を深め児童生徒の教育課題についてともに考えよう」

I 主題設定の理由

これまで、授業参観等を通して、具体的な児童生徒の様子を話題としながら、児童生徒の学習課題・生活課題について話し合うことで、小・中学校の連携のあり方について探ってきた。

今年度も、これまでの研究をもとに、小・中学校連携の意義の確認と児童生徒が抱える様々な教育課題について、ともに考えることで、児童生徒のよりよい成長を目指していきたい、と考え、このテーマを設定した。また、甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連携も図りながら、系統的な教育のあり方について考えていきたい。

II 研究の内容

1 第1回ブロック交流研究会 中止

2 第2回ブロック交流研究会

(1) 日時 令和2年11月25日(水)午後2時10分から

(2) 会場 大和小学校

(3) 内容

①大和小学校授業参観

・第1学年 ・第6学年 ・ひまわり学級

②情報交換会

・児童生徒の様子について ・教育課題について ・大和地区の教育課題について

III 成果と課題

1 成果

- ・小学校1年生と6年生、ひまわり学級の授業参観を行った。小学校の入り口の1年生と、出口となる6年生の授業参観をすることで、小学校6年間の成長・発達の様子を知ってもらえる機会となった。また、来年度、中学校に入学する児童の様子を見ていただくことができ、中学校に入ってから学習のスタートを円滑にするためにも良い機会となった。
- ・情報交換会では、児童・生徒の様子や、学習方法などの情報交換を行うことができた。特に、小中それぞれの自主学習の取組や実態について詳しく情報交換ができた。

2 課題

- ・時間的な制約もあるが、大和地区には歴史的建造物なども多いので、地域を歩き、地域のことを知る機会があるとよかった。
- ・令和4年度に大和中と勝沼中が統合されるので、来年度、ブロック研究はどのようにしていくのか、ブロック編制を考える必要がある。
- ・大和地域の課題を明らかにするため、校内研にとどまらず、教科などの交流がもっと自由にできる環境を作りたい。来年度の県の教育指導重点の中で、小中の接続について重点を入れているので、協働で授業案づくりに挑戦してもよい。

(ブロック長 飯室 美華)